

これなら使えるかも 旅行者を誘う「オキナワバス旅ガイド」の制作

発表者：岸本太幹（株式会社オリエンタルコンサルタンツ）

連名：三宅亮、崎濱秀治（内閣府沖縄総合事務局運輸部企画室）

佐藤貴行（株式会社オリエンタルコンサルタンツ）

伊藤烈（株式会社アカネクリエイション）

1. 背景・目的

■背景

- ・現在、沖縄県に訪れる観光客のうち6割～7割がレンタカー利用であり、空港周辺や那覇市内の渋滞につながっている。
- ・また、レンタカー利用の増加に伴い、貸渡に時間を要するなど旅行満足度の低下を招くとともに、レンタカー事故の増加に対する住民の懸念も広がっている。
- ・一方で、路線バスの利用は1割程度に留まっており、観光客の交通手段の分散化や公共交通の利用促進の観点から、観光客の路線バスの利用促進が求められている。

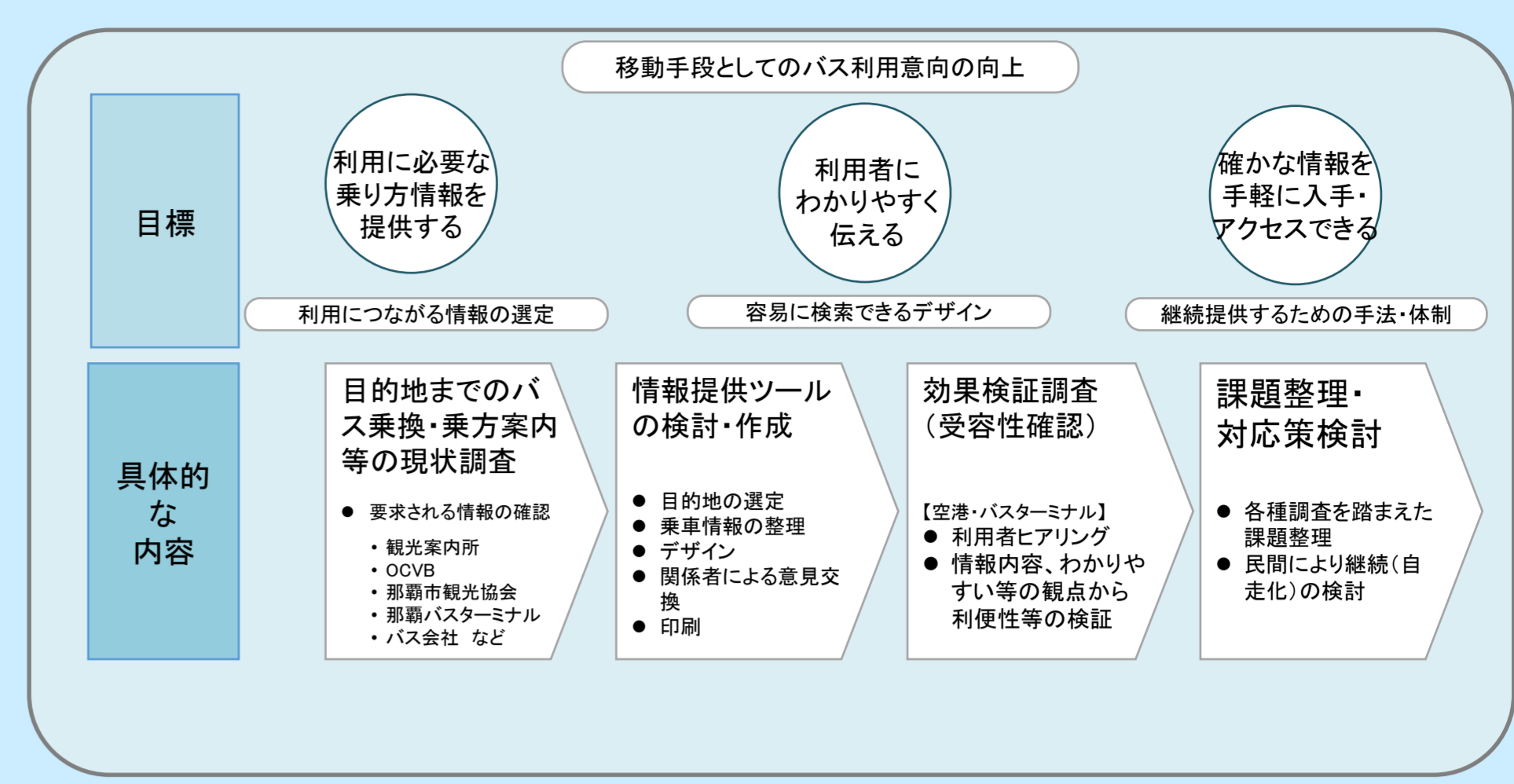
■既存のバス情報提供ツールについて

- ・既存ツールである「バスマップ沖縄」や「バスなび沖縄」は豊富かつ網羅的な情報を提供している一方で、主要な観光地を訪れることを目的とした観光客の目線からはやや複雑な印象。



■目的

- ・沖縄観光のゲートウェイである那覇空港及び新しくオープンした交通結節点である那覇バスターミナルを起点としたバス旅ガイドを制作することで、旅行者のバス利用の促進を図る。



2. 「オキナワバス旅ガイド」の制作

■「オキナワバス旅ガイド」の制作ポイント

ポイント① 「バス旅」につながる目的地・路線の選定

- ・バスによる観光（バス旅）の促進につなげるため、すべての路線を掲載するのではなく、「代表的」かつ「バスでのアクセスが容易」な観光地を選定し、これら観光地に向かう路線に絞り掲載した。
- ・また、他の行き方、詳細な運行時間については、路線検索サービスや「バスマップ沖縄」や「バスなび沖縄」へ誘導するものとした。

①主要観光地の抽出

- ・民間ランキングサイトの掲載状況
- ・既存の情報提供ツールにおける掲載状況
- ・那覇空港および那覇バスターミナルでの案内状況確認

②主要観光地の来場者数・口コミ等の把握

- ・来場者数の把握
- ・大手観光検索サイト「TripAdvisor」の口コミ数・評価等の調査

③バスによる交通アクセス状況の把握

- ・バスによるアクセス状況の把握
- ・近隣観光地の周遊可能性の検討
- ・宿泊想定地までの帰りやすさの検討

ポイント② メインの観光地から周遊を促すルートづくり

- ・バスによる周遊を促すため、空港・バスターミナルから一番最初に訪れると想定されるメインの観光地からバスで訪れることのできる観光地を選定し、マップへのプロットやルートを掲載した。

分類	考え方	掲載方法
メイン掲載箇所 (10箇所)	・代表的な観光地 ・徒歩15分以内 ・運行本数10本以上	・空港・BTからの経路を表示
サブ掲載箇所 (9箇所)	・徒歩15-20分以内 ・運行本数5本以上	・メインからの経路を表示
プロットのみ掲載箇所 (8箇所)	・徒歩15-20分以内 ・運行本数5本以上	・地図上にプロットのみ
市内拡大図掲載箇所 (9箇所)	・モノレールとの併用が考えられる市内観光地	・市内拡大図にプロット

メイン掲載箇所への行き方

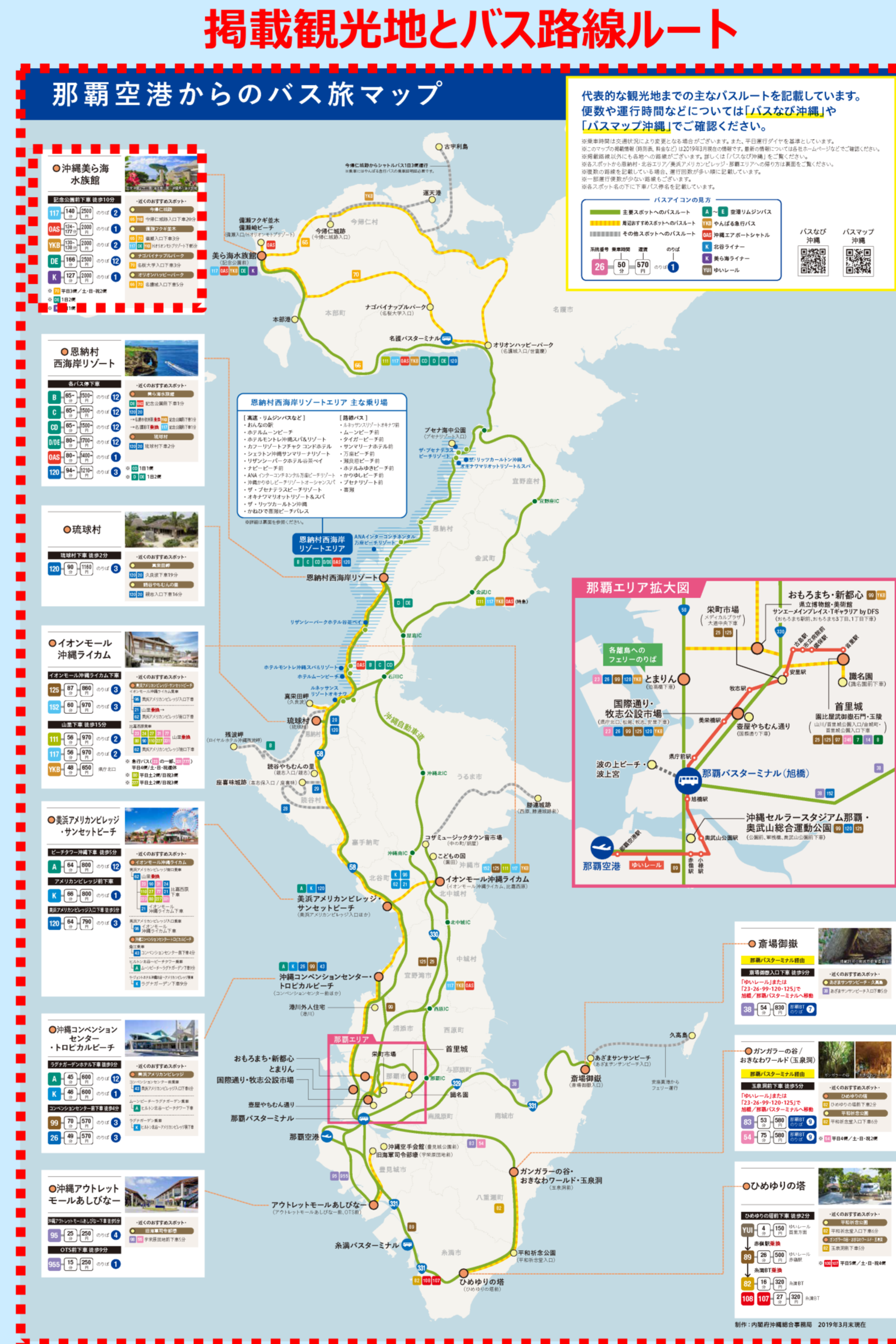
メイン掲載箇所



サブ掲載箇所への行き方

サブ掲載箇所

主要観光地の行き方情報など



ポイント③ 各スポットからの帰り方の掲載

- ・各スポットを周遊した観光客が、宿泊想定地である恩納村・北谷・那覇エリアまでバスで帰ることができるよう各スポットからの帰り方を掲載した。

例：真栄田岬から北谷エリア・那覇エリアへの帰り方

真栄田岬から	
▶ 美浜アメリカンビレッジ	
120 久良波 乗車	▶ 美浜アメリカンビレッジ入口下車
48 真栄田 乗車	▶ 久良波 乗車 ▶ 120 20 美浜アメリカンビレッジ入口下車
▶ 那覇エリア	
120 久良波 乗車	▶ 那覇BT 下車
48 真栄田 乗車	▶ 久良波 乗車 ▶ 120 20 那覇BT 下車

バス乗り場乗り方案内

表紙



宿泊地までの帰り方

問い合わせ先

ポイント④ 視認性を高めるデザイン

- ・視認性を高めるために情報の取捨選択や、利用しやすい観点から下記の対応を実施

- ◆ 方面別：方面別の色分け
- ◆ のりば番号：実際のバス標識と同じ色に統一
- ◆ 系統番号表示：実際のバス方向幕と同色統一
- ◆ 空港リムジンバスエリア表示：実際の案内と同色
- ◆ バス停表記：バス会社の社内放送に準拠

3. 効果検証

- ・国内外モニターに対し効果検証を実施（日本人5名、中国人3名、台湾人3名、米国人2名）
- ・「オキナワバス旅ガイド」を渡し、実際に那覇空港から複数の目的地（メイン+サブ）に訪れ、那覇バスターミナルまで周遊し、帰着後ヒアリングを実施。
- ・13名とも計画通りに周遊し、一定の利便性、適切性が認められた。
- ・ヒアリングでは、みやすさ、正確性、携行性、情報満足度を確認。



<モニター参加者からの声>

- ⇒目的地までの行き方がわかり易い
- ⇒ネットにつながりにくい外国人には便利

4. 課題整理・対応施策検討

- ・「オキナワバス旅ガイド」の制作結果や、効果検証の結果、関係者との協議結果等より、本情報提供ツールに係る課題を整理するとともに対応策を検討した。

課題1 情報内容のさらなる充実・わかりやすさの向上	課題2 情報発信方法の拡充	課題3 情報提供ツールの更新・メンテナンス
------------------------------	------------------	--------------------------

対応策1 情報提供ツールのバリエーションの充実	対応策2 インターネット、公共交通オープンデータとの連携強化
対応策3 県内関係者と連携した情報発信の拡充	対応策4 観光ポータルサイト等と連携した旅マエでの情報提供
対応策5 バス情報に精通した団体等によるメンテナンス	対応策6 広告掲載、協賛等による更新費用の捻出